

2018年（平成30年）3月27日

希望ヶ丘駅でのドア誤開扉について（お詫び）

相模鉄道株式会社

相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2018年（平成30年）3月25日（日）午後10時48分頃、横浜駅発海老名駅行き下り急行列車が希望ヶ丘駅において、先頭車両がホームを約4m行き過ぎて停車し、ドアを開閉するという事象が発生しました。

本件について、先頭車両最前部のドアがホーム先端を越えて停止しましたが、停止位置を訂正せずドアの開閉を行いました。

また、当該列車の運転士が本来行うべき報告を怠ったため、本件についての発表が遅れました。

ご利用のお客様には、大変ご迷惑とご心配をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2018年（平成30年）3月25日（日）午後10時48分頃
2. 発生場所 相模鉄道本線 希望ヶ丘駅1番線（横浜市旭区中希望が丘265）
3. 状況 (1) 当該列車が希望ヶ丘駅停車の際、減速が弱いと感じたが前の駅では問題がなかったためいったん様子を見たのち、ホーム中ほどで強めのブレーキを使用したのが、ホームを約4m（所定の停止位置から約9m）行き過ぎて停止しました。
(2) 運転士が停止位置を訂正せず、運転士の通告のもと車掌がドアの開閉を行いました。
(3) 本件による負傷者および遅延は発生していません。
(4) 運転士が本来行うべき報告を怠ったため、本件についての発表が遅れました。
4. 影響本数 0本（遅延は発生していません）
5. 原因 運転士のブレーキ操作のタイミングおよび停止位置過走時の対応方法が不適切であったため。
6. 対策 今回の事象を全乗務員に周知し、基本動作（ブレーキ操作方法および停止位置過走時の対応方法）の徹底についてあらためて指導する他、報告の重要性についても再徹底を行い、再発防止に努めてまいります。

以上